



『地球の破壊者た』

インターポール事件ファイル：

“炭素王子”と呼ばれた男

(2022 フランス)

~Premieres Lignes Television制作~



インターポールは環境を破壊する犯罪で巨万の富を得る裏社会の大物の追跡を続けている。
ターゲットは複数の顔を持ちCO2排出量取引詐欺で得た金でセレブを気取る伊達男。

詐欺・マネーロンダリングで国際指名手配されるユダヤ系フランス人アストリュック。
CO2排出量の取引制度を悪用して欧州諸国に55億ユーロの損害を与え「炭素王子」と呼ばれ。
各地に豪邸を持ちナイトクラブ経営者や映画プロデューサーとしても活動、
イスラエルではテレビにも出演していた大胆不敵な犯罪者との攻防。



インターポール

(国際刑事警察機構)

フランス リヨンに本部があり
190か国以上が加盟している。

- ・ 本作はインターポールの「**環境犯罪対策部門**」に初めて撮影取材が許可されたドキュメンタリー。



「環境犯罪対策部門」

野生動物や木材の闇取引、環境汚染
漁業や採掘などの犯罪を担当。

被害額は年間2,500億ドルを超えている。

・ 10年にわたり(CO2)排出量取引に関わる犯罪グループ
「**カーボンマフィア**」を追ってきたインターポールと、

目下の最重要人物：**シリル・アストリュック**の話を軸に
資金の流れを辿り、犯人を捕らえる内容となっています。

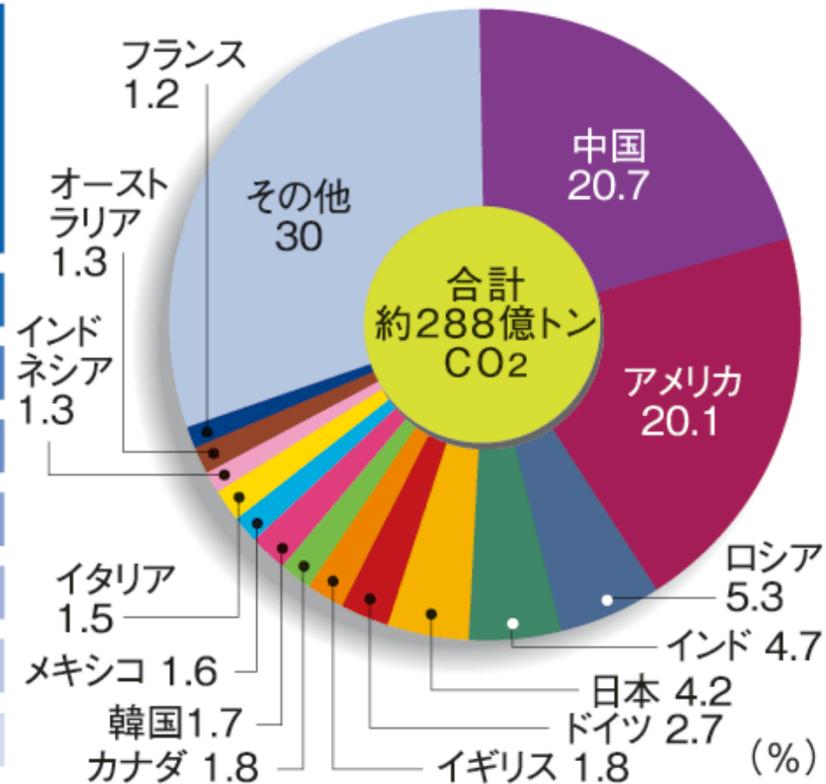
● 京都議定書の温室効果ガス削減目標と二酸化炭素排出量

温室効果ガス削減目標 (90年比、%)

-8	EU (ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、オーストリア、デンマーク、フィンランド、スペイン、ギリシャ、アイルランド、ルクセンブルク、ポルトガル、スウェーデン)、ブルガリア、チェコ、エストニア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、モナコ、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スイス
-7	アメリカ (2001年に離脱を表明)
-6	日本、カナダ、ポーランド、ハンガリー
-5	クロアチア
0	ニュージーランド、ロシア連邦、ウクライナ
1	ノルウェー
8	オーストラリア
10	アイスランド

注：炭素換算トンとは二酸化炭素中の炭素の質量をトンで表したもので、約 3.7 倍で二酸化炭素量になる

二酸化炭素排出量 (2007年)



資料：日本エネルギー経済研究所「EDMCエネルギー・経済統計要覧」

「京都議定書」

- ・ 物語は「京都議定書」から始まります。

およそ30年前、1997年12月11日多くの国々が集まり、地球温暖化を食い止めるために具体的な行動を起こすことで合意しました。EU、日本、カナダなど先進国の大半が、温室効果ガス排出量の削減を約束。

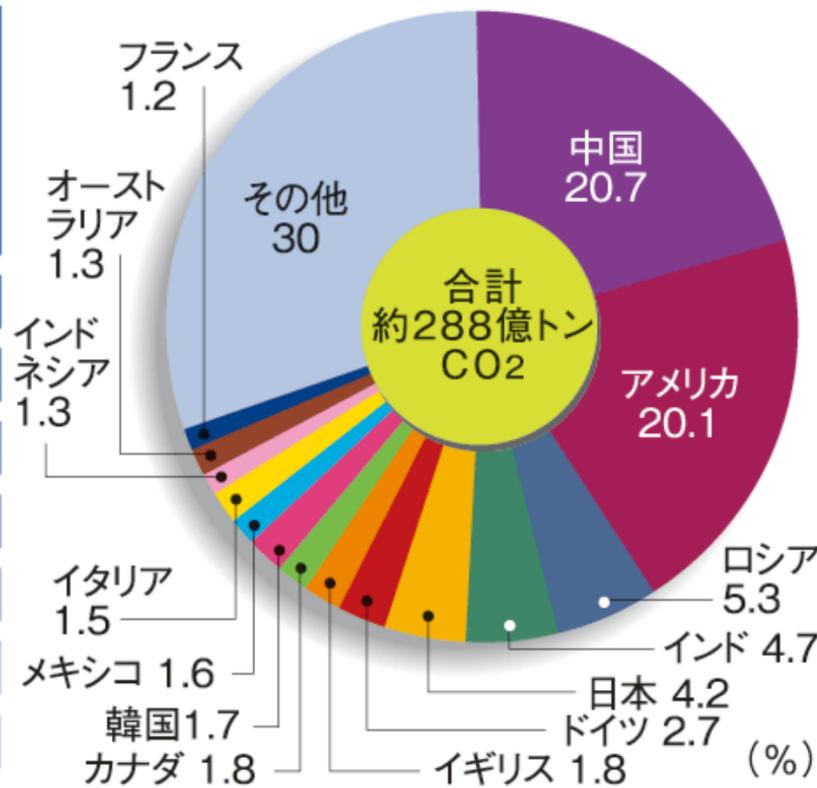
● 京都議定書の温室効果ガス削減目標と二酸化炭素排出量

温室効果ガス削減目標 (90年比、%)

-8	EU (ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、オーストリア、デンマーク、フィンランド、スペイン、ギリシャ、アイルランド、ルクセンブルク、ポルトガル、スウェーデン)、ブルガリア、チェコ、エストニア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、モナコ、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スイス
-7	アメリカ (2001年に離脱を表明)
-6	日本、カナダ、ポーランド、ハンガリー
-5	クロアチア
0	ニュージーランド、ロシア連邦、ウクライナ
1	ノルウェー
8	オーストラリア
10	アイスランド

注：炭素換算トンとは二酸化炭素中の炭素の質量をトンで表したもので、約 3.7 倍で二酸化炭素量になる

二酸化炭素排出量 (2007年)



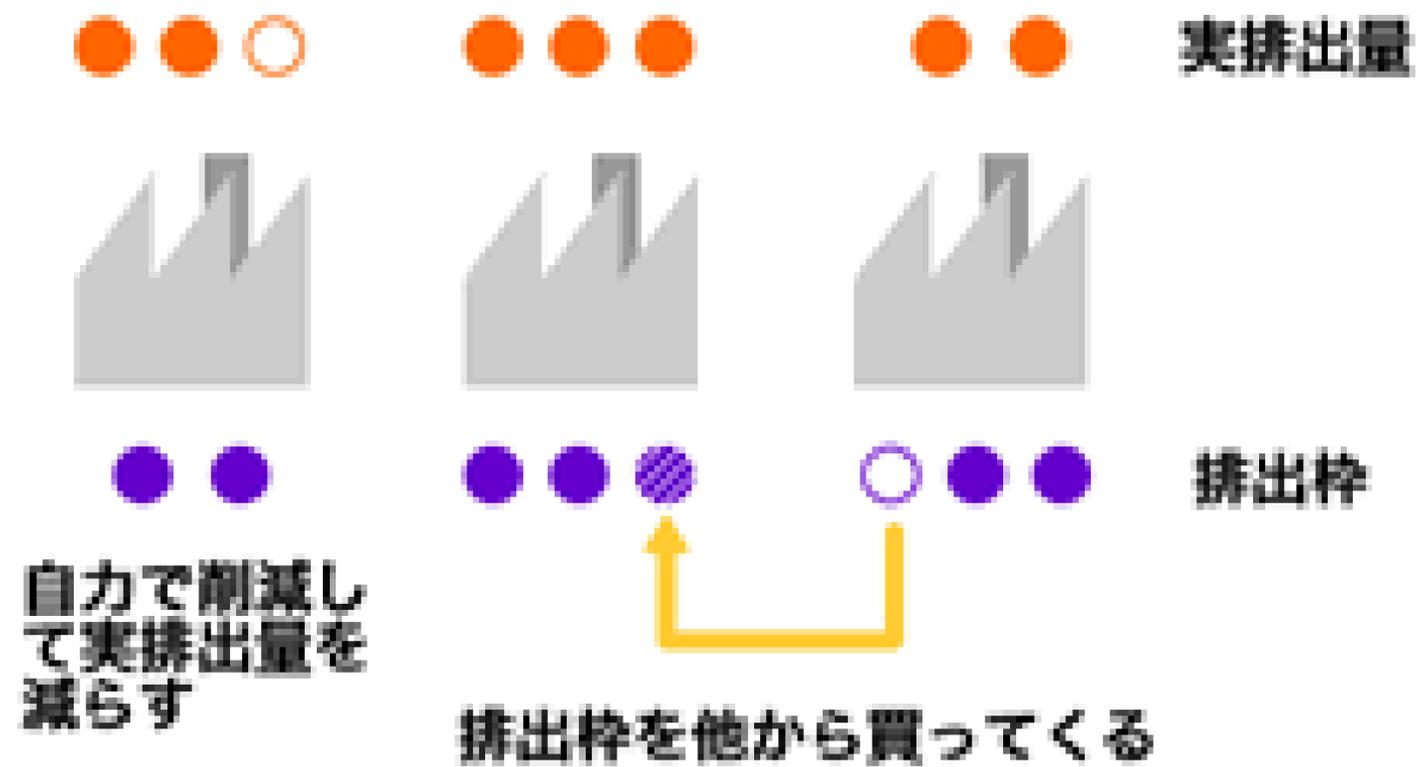
資料：日本エネルギー経済研究所「EDMCエネルギー・経済統計要覧」

「京都議定書

- しかし、温室効果ガス排出量の削減しようとしても目標の達成は容易ではありません。



そこで、取引所のような仕組みをつくり、二酸化炭素の排出枠を売り買いしようというアイデアが生まれました。



「温室効果ガス排出量取引」

- ・ 二酸化炭素の取引価格は1トンあたり約23.35ユーロ。

欧州では3,000社が排出量の上限を設定。

二酸化炭素が大量に売り買いされる新たな市場が生まれた。

- ・ 当初は健全な取引でした。

ところが、その取引を不正に利用する者たちがあらわれたのです。



「カーボンマフィア」

- ・ きっかけは「不審な取引や怪しい金の動きがある」という、あるすじからの情報提供でした。

フランスでの被害額を調べると14億ユーロという、とてつもない額でした。

- ・ 彼らはタックスヘイブンに架空の会社をつくりました。外国籍の企業を装い、免税で買った排出枠をフランス国内で転売して税金分を懐に入れたんです。膨大な取引数から考えても一日当たり何十万ユーロも儲けている筈です。



「カーボンマフィア」

- ・フランスだけでも莫大な額の税収が消えました。

ヨーロッパ全体の被害額は55億ユーロだが、実際はもっと多いでしょう。

- ・盗まれたのは環境対策の為のお金です。

この先何百年とつづく重要な政策への資金が盗まれたのです。

不正行為のせいで、システムは十分に機能しなくなり、
環境への効果を失ってしまいました。



「犯人は誰なのか」

- ・ 犯人は何十何百という架空の会社を使って、猛スピードで金を循環させ資金洗浄を行っています。

最終的に誰が利益を手にしてているのかを突き止めるには膨大な手間がかかります。

- ・ オフショアの拠点はいくらかでもあります。

ルクセンブルク、スイス、ラトビア、キプロス、香港、シンガポール、ドバイ、パナマ、イギリス領バージン諸島、各地に他人名義で架空の会社を作るのです。

会社の代表者として登録されている人物の多くは、単なる名義貸しではあるものの、捜査の糸口にはなりません。



「犯人は誰なのか

- ・ 名義を貸していたのは食料品店の店主、ゴミの収集作業員、魚屋、ウニ漁師、庭師、市役所の職員、定年退職者、製造業者、バラエティーに富んでいました。
- ・ 捜査官は彼らに接触したが大した情報は得られませんでした。せいぜい車のナンバーやニックネームなど、断片的な情報をかき集め手がかりを探りました。



「犯人は誰なのか

- ・ 名義を貸した人物、手助けをした人物、**」**末端の詐欺師たちを取り調べるうちに、常に上がったのが「**シリル・アストリュック**」という名前でした。
 - ・ ある日容疑者の1人がグローバルビジョンという雑誌を持ってきてくれと言いました。そして表紙の写真を見せ、これがボスだと言った。「アレックス・カーン」



「アレックス・カーン

- ・彼は記事の中で二酸化炭素の排出量を如何に管理するかを
アフリカ諸国に助言するプロジェクトについて語っていました。
フランス当局に問い合わせたところ
「シリル・アストリュック」という人物の別名だと判りました。



「シジル・アストリュック

- ・イスラエル在住のフランス人

- ・イスラエルのTV番組にも度々出演

- ・資産家で富裕層に人気の複数のナイトクラブを経営。

テレビのリアリティーショーに出てくるような豪邸をいくつも持ち

一等地に何軒も店を構え、競走馬の厩舎まである。

「アレックス・カーン」名義でアメリカの映画に出資もしていた。

イスラエルの人気歌手など、著名人とも繋がりがあり息子の成人式のパーティーなど

にも出席していた。



「シ rilル・アストリユック

- ・しかし、裏の顔は、
- ・ 過去、アメリカやスイスでも収監されている根っからの悪党。
- ・ ロシアのオリガルヒ達と夜通しパーティー、「ベニー」と呼ばれていた。
- ・ イスラエルの麻薬組織とのつながりがあるとされ、イスラエルの警察も彼をマークしていました。



「シジル・アストリュックの逮捕

- ・ 2011年、乗っていたフェラーリの事故がきっかけで逮捕されたアレックス・カーンこと「シジル・アストリュック」は2013年10月1日、パリの予審判事に召喚されました。
- ・ 翌日からの取り調べには弁護士が10人以上立ち会った。

自分に掛かる容疑を否定

「過去に脱税ビジネスに手を出したことはあるがCO₂排出量の取引に関わったことは一度もない」と主張。



「シрил・アストリュックの逃亡

・15か月後保釈。

保釈金400万ユーロ。監視のもと解放された。

パスポートも没収され

フランスからの出国は禁止されました。

足首には発信機が取り付けられ、

警察に定期的に出頭することも義務付けられました。



「シрил・アストリュックの保釈

・ 15か月後保釈。

保釈金400万ユーロ。監視のもと解放された。

パスポートも没収され

フランスからの出国は禁止されました。

足首には発信機が取り付けられ、

警察に定期的に出頭することも義務付けられました。

・ しかし、

そんな状況でも警察や司法をあざ笑うかのようにメディアに出続けました。



「シрил・アストリュックの逃亡

・ 2017年5月29日

初公判

容疑は9億ユーロ分のCO₂排出量取り引きをめぐる不正

・ しかし、

初日こそ出廷しましたがそれ以降、「シрил・アストリュック」姿を消しました。

住処はもぬけのから...

あきらかに計画的な逃亡でした。



「イスラエルにて」

- ・ アストリュックには10年の刑と200万ユーロの罰金邸宅をはじめとする財産の没収が言い渡されました。

- ・ しかし、イスラエルに逃亡した

アストリュックの引き渡しに応じないイスラエル。

司法長曰く「彼はイスラエルでは法を犯していない。

国際指名手配されているからと言ってそれを理由に引き渡すことはしません。



- ・問題は、正規の強盗と呼ばれているCO2の排出量取引詐欺に関わっている犯罪者10人ほどが合法的にイスラエルに暮らしている、という点です。
彼らはイスラエルの国籍も手に入れています。
ユダヤ人としての自覚に目覚めたなどといっていますが、
実際は母国からの追及を逃れるためでしょう。（ある女性ジャーナリスト）
- ・フランスでは有罪とされたのにイスラエルでは優雅に暮らしている人間たちが8人いる。イスラエルが犯罪者の隠れ蓑にされている。
（イスラエル警察の匿名人物組織犯罪捜査班）



・ 2021年7月

制作スタッフはアストリュック本人と接触に成功

「フランスでの起訴内容は全て否定する」

「そもそも制度が抜け穴だらけだった」と語った。

2022年、彼の側近の1人がフランス当局に出頭した。

シジル・アストリュックは現在もイスラエルで暮らしている。

※商用・営利目的の資料ではなく、社内発表用の資料です。

※個人的な見解や解釈を含んでいる場合もございますがご容赦ください。